

国際シンポジウム
「イメージとしての戦後」特別企画

「イメージの悲しみ」

名古屋大学教養教育院プロジェクトギャラリー「clas」
www.vision.ss.is.nagoya-u.ac.jp/clas/

● 展覧会

2009年1月5日【月】 - 15日【木】（土・日は休み）10-18時

● パフォーマンス

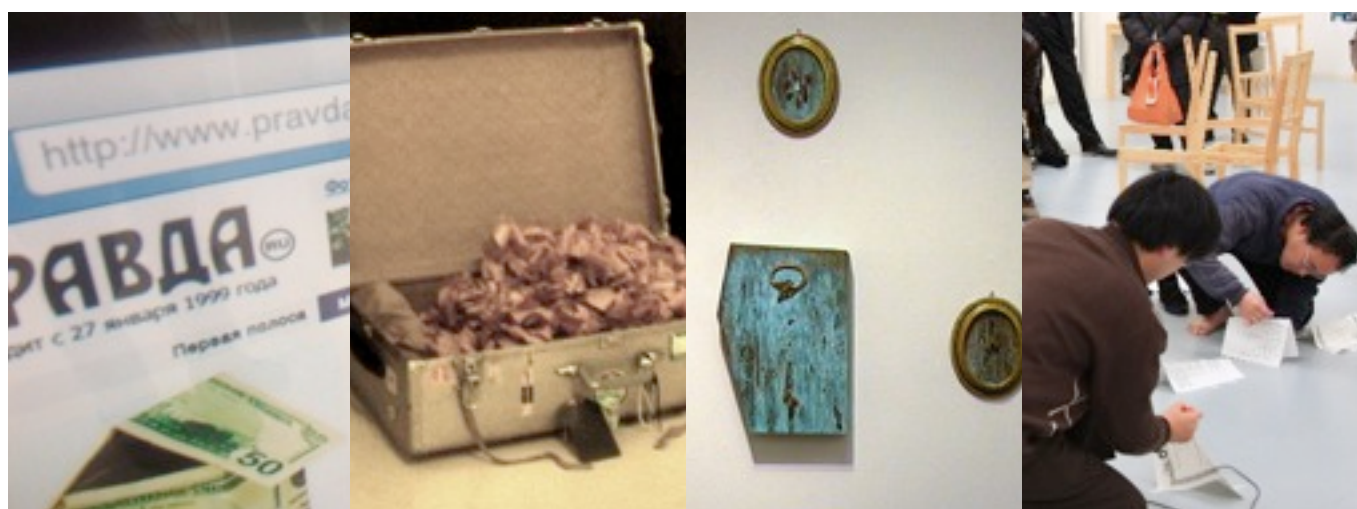
2009年1月9日【金】 19時より

*シンポジウムは9日-11日の日程で、名古屋大学文系総合館7階カンファレンスルームで開催されます。また9日は、パフォーマンスに先立ち18時より「clas」前でレセプションをおこないます。

主催：名古屋大学文学研究科附属日本近現代文化研究センター
<http://www.lit.nagoya-u.ac.jp/mcjc/>

共催：名古屋大学教養教育院

企画：茂登山清文



この展覧会とパフォーマンスは、2008年10月に名古屋大学文学研究科に設立された日本近現代文化研究センターの主催による国際シンポジウム「イメージとしての戦後」の特別企画としておこなわれます。そこで発せられる言語によるイメージへの問いかけに併置されるものとして、企画されました。参加するアーティストたちは、社会で進行する切実な出来ごとに眼をむけつつ、「イメージ」を投げ所として、あるいは「イメージ」に隣接して、発表を続けています。多様なメディアを用いて制作された作品は、アートの生産／消費の過程において、しばしば等閑視されているイメージに対する、もうひとつの問いともなるはずです。



名古屋大学教養教育院プロジェクトギャラリー「clas」
名古屋千種区不老町 Tel:052-789-4725 (名古屋大学教養教育院)
アクセス：地下鉄名城線「名古屋大学」駅下車・1番出口より西へ5分、全学教育棟南入口横。車の場合は17時までに南門より、用務を伝え入構の上、出構時に精算してください（100円／時間）。

